

就業及び社会活動への参加と総合生活満足度

— 4 か国比較 —

中央大学大学院戦略経営研究科教授 佐藤博樹

1 はじめに

先進諸国と比較して、日本の高齢者とりわけ男性に関しては、60歳代後半以降の就業率や就業継続意向が高いことが知られている。この点は、今回の調査でも確認できる¹。本稿では、就業だけでなく就業以外の社会活動への参加状況を含めて4か国比較を行う。さらにそれを踏まえて、就業及び就業以外の社会活動への参加と総合生活満足度の関係を分析する。

結論を先に述べると就業と就業以外の社会活動への参加を合わせたものを広義の社会参加とすると、4か国の中で日本は、広義の社会参加率が高い国ではない。日本の特徴は、高齢者の就業している者が多いことだけでなく、就業以外の社会活動への参加者が少ないことにある。言い換えると、日本に比較して高齢期の就業者が少ない国では、就業以外の社会活動への参加者が多くなる。さらに就業及び就業以外の社会活動参加と総合生活満足度の関係を見ると、4か国のデータ分析では、就業以外の社会活動への参加が総合生活満足度を有意に高めることが明らかになった。

2. 就業と就業以外の社会活動への参加の状況

今回の調査には、現在の就業状況のみを尋ねた設問はない。ただし、今後、収入を伴う仕事をしたいかどうかを、あるいは現在収入を伴う仕事をしている者には、今後も収入を伴う仕事を続けたいとどうかを、同じ選択肢で尋ねる設問が設けられている(Q19)。そこでこの設問の選択肢1の「収入の伴う仕事をしたい(続けたい)」を選択した者を就業者(仕事をしたい者)とした。また、就業以外の社会活動への参加に関しては、Q21の選択肢1の「仕事以外にしたいことがあるから」を選択した者を社会活動参加者とした。この設問は、Q19で選択肢2の「収入の伴う仕事をしたくない(辞めたい)」を選択した者のみに対して尋ねるものである。そのため、就業しながら社会活動に参加している者は、就業者に分類されることになる。こうした設問設計のあり方から、ここで社会活動参加者として分類した者は、仕事以外にしたいことがあるために就業していない層となる。また、健康上の理由や家族の介護などのために仕事ができない者や、仕事をせずゆっくりした生活を送りたい者などは、ここでの社会活動参加者には含まれていない。つまり、就業者、社会活動参加者、それ以外の3つのカテゴリーは、独立したものとなる。

上記の3つのカテゴリーの分布を男女別かつ4か国別に見たものが図表1である。男女計を見ると、4か国の比較では、日本は就業者の比率が最も高く(45.0%)、他方、社会活動参加者が最も少なくなる(3.0%)。日本とアメリカの就業者の比率が女性では同率(38.5%)となるが、それ以外では、男女別かつ国別に見ても男女計で確認できた特徴が該当する。

¹ 本報告書の池田心豪論文を参照されたい。

さらに、就業者と就業以外の社会活動への参加者を合わせてそれを広義の社会活動参加率とすると、男女計では、日本が最も高い国（約48%）となるわけではなく、比率が高い国は、スウェーデン（58%）である。さらに、男女別に見ても日本が広義の社会活動参加率が最も高い国ではない。

図表1 就業者と社会参加活動

Country 国と activity と F1 F1 あなたの性別のクロス表

				activity			合計	
				1 就業者 *	2 社会活動 * 参加者	3 その他		
F1 F1 あなたの性別								
1 男	Country 国	1 日本	度数	265	12	226	503	
			Country 国の %	52.7%	2.4%	44.9%	100.0%	
		2 アメリカ	度数	198	80	204	482	
			Country 国の %	41.1%	16.6%	42.3%	100.0%	
		3 ドイツ	度数	116	68	248	432	
			Country 国の %	26.9%	15.7%	57.4%	100.0%	
		4 スウェーデン	度数	180	111	173	464	
			Country 国の %	38.8%	23.9%	37.3%	100.0%	
	合計			度数	759	271	851	1881
				Country 国の %	40.4%	14.4%	45.2%	100.0%
2 女	Country 国	1 日本	度数	231	21	348	600	
			Country 国の %	38.5%	3.5%	58.0%	100.0%	
		2 アメリカ	度数	197	85	230	512	
			Country 国の %	38.5%	16.6%	44.9%	100.0%	
		3 ドイツ	度数	113	105	338	556	
			Country 国の %	20.3%	18.9%	60.8%	100.0%	
		4 スウェーデン	度数	186	103	247	536	
			Country 国の %	34.7%	19.2%	46.1%	100.0%	
	合計			度数	727	314	1163	2204
				Country 国の %	33.0%	14.2%	52.8%	100.0%
合計	Country 国	1 日本	度数	496	33	574	1103	
			Country 国の %	45.0%	3.0%	52.0%	100.0%	
		2 アメリカ	度数	395	165	434	994	
			Country 国の %	39.7%	16.6%	43.7%	100.0%	
		3 ドイツ	度数	229	173	586	988	
			Country 国の %	23.2%	17.5%	59.3%	100.0%	
		4 スウェーデン	度数	366	214	420	1000	
			Country 国の %	36.6%	21.4%	42.0%	100.0%	
	合計			度数	1486	585	2014	4085
				Country 国の %	36.4%	14.3%	49.3%	100.0%

* 1. 就業者（仕事をしたい）

2. 社会活動参加者（仕事以外にしたいことがある）